

あなみず 議会だより

2023 vol. **45**

令和5年8月1日発行
石川県穴水町議会



議案一覧	2
補正予算の概要	3
常任委員会	4
一般質問	5～9



会期：令和5年6月6日～6月16日

番号	件名	可否	摘要
議案第30号	穴水町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全員賛成
議案第31号	穴水町農業委員会委員の任命について	原案同意	
議案第32号	令和5年度穴水町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	
議案第33号	令和5年度穴水町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	
議案第34号	財産の取得について（穴水町消防団甲分団消防ポンプ自動車）	原案可決	
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案適当	全員賛成
報告第1号	令和4年度穴水町一般会計補正予算(第8号)の専決処分の報告について	原案承認	全員賛成
報告第2号	令和4年度穴水町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第3号	令和4年度穴水町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	原案承認	
報告第4号	令和4年度穴水町介護保険特別会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第5号	令和4年度穴水町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告について	原案承認	
報告第6号	令和4年度穴水町水道事業会計補正予算(第3号)の専決処分の報告について	原案承認	
報告第7号	令和5年度穴水町一般会計補正予算（第1号）の専決処分の報告について	原案承認	
報告第8号	穴水町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第9号	穴水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第10号	穴水町地域経済索引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第11号	穴水町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第12号	穴水町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	原案承認	
報告第13号	穴水町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案承認	
発議第4号	穴水町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	全員賛成
議会報告第2号	例月出納検査の結果報告について		
議会報告第3号	令和5年度（一財）穴水町文化・スポーツ振興事業団事業計画書及び予算書の報告について		



補正予算の概要【令和5年度4月・6月補正】



会 計		予 算 額	4月補正額（専決）	6月補正額
一	般 会 計	70億 3,884万円	4,154万円	1億 2,430万円
特別会計	国民健康保険	10億 6,317万円	—	—
	公共下水道	3億 9,978万円	—	1,210万円
	介護保険	16億 1,364万円	—	—
	後期高齢者医療	1億 7,770万円	—	—
企業会計	病院事業	30億 961万円	—	—
	水道事業	4億 1,266万円	—	—
合 計		137億 1,540万円	4,154万円	1億 3,640万円

○電力ガス食料品等価格高騰重点支援給付金 4,000万円

物価高騰により特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等への支援

対象：住民税非課税世帯又は家計急変世帯
給付額：30,000円 / 世帯

○子育て世帯生活支援特別給付金（低所得の子育て世帯） 154万円

物価高騰に直面し特に影響を受けている低所得の子育て世帯への生活支援

対象：住民税非課税の子育て世帯
給付額：50,000円 / 人（児童）

○あなみず BuyBye 商品券事業 4,430万円

物価高騰による家計への負担軽減を図る

対象：令和5年6月1日現在で住民登録がある方
助成額：5,000円分 / 人（高校生以下には5,000円分上乘せ）

○あなみず学生生活応援事業 200万円

物価高騰による学生生活への支援

対象：町出身の大学生など
助成額：10,000円 / 人

○肥料・飼料・燃料価格高騰緊急対策事業 300万円

原油価格高騰の影響を受ける農業者等への負担軽減対策

対象：農業所得申告をした農業者等、その他要件あり
補助額：15,000円 / 人（限度額 10万円）

○のと鉄道利用促進等対策事業 950万円

新規利用者の獲得と観光客の増加を図る

対象：穴水駅—七尾駅の利用者
助成率：運賃の1/2を助成（1日フリー切符、回数券が対象）

○穴水小学校耐力度調査業務委託 580万円

建築から54年が経過した校舎の耐力度を調査し、改修など今後の判断材料とする

○可搬式小型動力ポンプ整備事業 242万円

火災の初期消火に使用するため、人力で搬送できる機器を配置 配置先：穴水分団、西川島女性防火クラブ

○穴水バイキング給食実施事業 95万円

児童生徒に楽しい食事の機会を提供し、食べ物のおお切さやマナーを学習する



補正予算の概要【令和4年度専決補正】



令和4年度一般会計及び各特別会計、企業会計については、年度末の決算見込みや事業費の確定及び精算による専決補正を行いました。

会 計		予 算 額	補 正 額（専決）
一	般 会 計	79億 647万円	1億 2,940万円
特別会計	国民健康保険	10億 4,100万円	7,230万円
	公共下水道	3億 9,941万円	▲ 2,533万円
	介護保険	15億 488万円	▲ 2,777万円
	後期高齢者医療	1億 6,669万円	▲ 491万円
企業会計	病院事業	58億 6,853万円	—
	水道事業	9億 595万円	▲ 2,487万円
合 計		106億 8,293万円	1億 1,882万円

令和5年6月
定例会

常任委員会

の活動



常任委員会とは

議案・請願・陳情を詳しく審査するため、法律に基づいて設置される委員会で、穴水町には産業や税、施設等を扱う「総務産業建設常任委員会」と教育や福祉などを中心に扱う「教育民生常任委員会」の2つがあります。

総務産業建設常任委員会 ～主な要望・指摘事項～

委員：浜崎・小谷・山本・大中・小泉



森林環境税について

住民税均等割の徴収について、令和6年度から課税される森林環境税と、平成26年度から徴収されている復興特別税との関係について質問があり復興特別税に代わり森林環境税が撤収されるため、住民税均等割の額に増減はないとの説明を受ける



シングルペアレント 支援事業について

シングルペアレント支援事業について、未就学児の受入れ体制を整えた上で事業を展開すべきであるとの指摘をした

教育民生常任委員会 ～主な要望・指摘事項～

委員：小坂・宮本・佐藤・湯口・伊藤

各種補助事業の周知について

各種補助事業について、町民への周知を積極的に行い、予算を減額する事のないように努めること

可搬式小型動力ポンプの 設置等について

可搬式小型動力ポンプの設置に関し、初期消火の要となる機器であることから、多くの方が操作できるよう講習会等を実施し、又、保管場所についても検討を行うこと



町の活性化について

新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられたことにより、町民を対象とした行事を積極的に開催し、町に活気を取り戻す施策を行って欲しい



議員 小谷政一

災害対策本部設置に特化した訓練の計画は

荒木環境安全課長 防災システムを活用した訓練を行う

災害対策本部設置訓練の
実施について

問 災害対策本部設置に特化した訓練の計画と防災システムの稼働について問う

答 本訓練は10月開催予定の総合防災訓練で実施。防災システムを活用し初動体制の流れや現場の状況確認が迅速に行えるよう情報共有訓練を事前に行う。防災システムの操作については、担当者だけでなく課内全職員が操作できるように研修を行い、他課の職員も操作できるように操作マニュアル等の作成を行う。
(荒木環境安全課長)

問 課制条例の改正により地域防災計画の見直しが必要と思うが、防災会議の開催時期を問う

答 新年度より新しい部署ができたことに伴い、災害発生時の役割分担の見直しが必要となっている。併せて、国の災害基本計画や県の地域防災計画の改定点を十分に精査した上で、より確実な地域防災計画を作成するため、防災会議の開催時期は秋頃を予定している。

今後いつ起こるか分からない災害に備え「六水町職員危機管理ハンドブック」の改訂を先に行い、「職員一人ひとりが危機管理担当職員」であることを再認識し、災害等発生時の確かつ迅速に行動するためスマートフォンで初動対応が確認できるようにデータ配布を行い、危機管理体制の整備を図っている。
(荒木環境安全課長)

水道管理について

問 給水人口が5千人以下となった自治体では、「水道事業の経営健全化を確保するため、上水道から簡易水道へ移行した」というが、そのメリットとデメリットは。また、当町は移行を検討するのか

答 平成29年3月策定の町水道事業経営戦略では、令和8年度で5035人と減少傾向が続くと予想されている。現在の水道事業は、給水人口の減少、住民の節水意識の高揚、節水型機器の普及など一人当たりの使用水量が減少し水道料金の減収となっている。簡易水道事業は、上水道事業より補助メニューが多く補助金を活用した経営が可能となるが、周辺事業体との事業統合が問われると思う。現段階で、簡易水道事業への移行は想定していない。
(吉村町長)

問 地区が管理する簡易水道について

答 町には、簡易水道が4箇所、飲料水供給施設が3箇所、小規模水道が14箇所の計21箇所。各施設を取り巻く状況は、施設の老朽化、人口減少と高齢化に伴う管理の困難さなど厳しさをましている。上水道の給水エリア拡大は、独立採算制を実施する水道事業会計では、困難と思われる。引き続き、技術面での支援や修繕に要する経費の助成を行い、施設の維持管理を含め施策を検討する。
(勝本上下水道課長)



議員 宮本 浩司

デジタル田園都市国家構想総合戦略完成時期は

吉村町長 年度内の完成を目指す

問 新型コロナウイルス5類移行に伴う学校の現状と今後の学校管理・運営の正常化に向けた方針を問う

答 5月8日以降、こまめな換気や手洗いなど基本的な感染対策は継続しつつではあるが、以前の様な状況に戻りつつある。マスクの着用率は、小学校では1年生は外している児童が多いが全体で6割以上、中学校ではほぼ全員が着用。学校では個人の判断に任せているが、状況に応じ「外すよ」と声をかけ実施。マスク着用に関して保護者からの相談等はないが、偏見や差別、いじめなどに繋がらないよう特に注意を払っている。基本的な感染対策を継続しながら、学校行事や部活動など以前のように、元気で活力ある穴水っ子を育てていく。
(大間教育長)

問 デジタル田園都市国家構想交付金の採択と活用を含めた戦略の概要、目指す方向性、策定状況、工程、完成時期を問う

答 デジタル田園都市国家構想総合戦略は、デジタルの力を活用し地方創生を加速化・深化し、「誰もが何処でも便利で快適に暮らせる社会、デジタル田園都市国家」の実現を目指すもので、令和5年度から令和9年度までの施策の具体化を示す。現在は改訂に向けた内容を整理しており、具体案をまとめる識者で構成する審議会を数回開催し年内に素案を策定、パブリックコメントで意見を聞き年度内の完成を目指す。交付金については、第2次募集の採択に向け取り組んでおり、町の自然と景観を武器に空き店舗や空き家を有効利用したサテライトオフィスの誘致、労働者家族の移住、区域外就学制度を活用した義務教育の児童生徒の体験環境の整備、低迷した飲食業等の開業サポート拠点の整備など、関係人口の増加を図っていく。
(吉村町長)

宝山マリーナの再整備を検討しては

金谷地域整備課長 再整備を県と協議する



大中 正司議員

後期高齢者医療制度の保険料の徴収について

問 後期高齢者医療制度に移行となる75歳の被保険者に対し、保険料納付の手続きの軽減をどのように行っているのかを問う

答 被保険者には、誕生月の前月に関係書類と一緒に口座振替依頼書を郵送している。口座振替を選択する場合には、金融機関での手続きが必要となるが迅速な手続きとスムーズな保険料納付に繋がるのでご協力をお願いする。今後も、わかりやすい説明や資料提供と被保険者の負担軽減に努めていく。

町における放置艇対策について

(笹谷住民福祉課長)

問 町の港湾・河川・漁港やその周辺の陸域に係留されている船舶数と、放置艇の数は。また、その放置艇に対する罰則はあるのか

答 船舶数は419隻、うち放置艇は118隻。河川法上は条例が定められている場合は、罰則はある。六水港湾区域は、罰則は適用されない。(金谷地域整備課長)

問 不法係留対策として、宝山マリーナの再整備を検討してはどうか

答 町が管理する宝山マリーナには、18隻の係留が可能で、うち2箇所は緊急的な避難係留箇所として確保している。16箇所のうち13箇所が賃貸契約を行っている。マリーナ周辺は、県が管理する港内であり不法係留については県に指導を依頼し、民間施設等で係留場所が確保できない場合にマリーナの再整備を県と協議する。(金谷地域整備課長)

問 宝山マリーナの港内に放置されている大型漁船に対するこれまでの対策と今後の対応について問う

答 大型漁船は、県が管理する港内に係留されており、県と所有者の間で協議が進められている。(金谷地域整備課長)

まちなか100円バスについて

問 バスルートの選定について、遠回りのルートとなる「あすなる広場」のバス停を残した意図を問う

答 指摘のバス停は、緑地広場を活用した地域住民の交流や観光の振興を通じ地域の活性化を図る公共施設にあり、これまで空白地であった場所に公共交通網を整備することで、利便性の向上が図られ賑わいの創出に寄与すると考えている。今後も、町民からの意見を募り満足度の高い公共交通を目指す。(中瀬観光交流課長)

問 昨年11月号に実施した町民アンケートの結果について問う

答 乗客からの聞き取りや広報で募った意見は15件あった。「小型の車両でも良いのでは」「免許返納者のために継続をお願いする」「ステップが高く不便」などの意見を踏まえ、6月からの本格運行では車両の見直し、運行ダイヤの改定を行っている。(中瀬観光交流課長)

問 本格運行が始まって利用状況に変化は見られたか

答 日が浅く、変化等を判断するには時期尚早と考える。引き続き経過観察を実施し意見集約を図っていく。(中瀬観光交流課長)

地域公共交通計画について



問 既存の公共交通サービスを活用し地域の持続可能な旅客運送サービスを提供するため「地域公共交通計画」を策定することであるが、発注に際し、町が検討したラフプランや成果物として期待するイメージ、策定工程を問う

答 交通事業者や地域関係者等との協議を重ね町民アンケートを参考に持続可能な計画となるよう作成する。工程として、

- ① 町内全域を区域とし、5ヶ年程度の計画期間とする
 - ② 基本的な方針、スローガンを決定する
 - ③ 具体的な達成目標を設ける
 - ④ 目標達成のための事業を決定し、期間内に確実に実行する事業を検討する
 - ⑤ 目標達成の評価方法を定める。
- 計画が、移動手段の課題解決にとどまらず、様々な分野に発現効果が得られる計画とする。(吉村町長)



伊藤 繁男 議員

育児用品のリユースについては

谷口子育て健康課長 広報やアプリなどで周知しリユースの輪を広げていく

問 総合戦略について

答 「第2期穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の際、穴水町創生推進本部会議を令和元年11月から令和2年2月にかけて計3回開催し、必要な施策や事業を整理し素案づくりや数値目標の設定を行った。

総合戦略の見直しについては、今年度に改訂を予定し、DXや脱炭素社会の実現など新たな視点にも対応できるように、必要な組織改編などの環境整備を行っていく。

(吉村町長)

企業誘致について

問 どのような企業を想定しているか

答 従業員の働き方に重点を置いたサテライトオフィスの誘致を取り組むべき課題として考え、昨年度はソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、デザイン業、機械設計業等を営む企業に対し、土地や家屋、償却資産の取得や人件費等を支援する穴水町サテライトオフィス立地促進補助金を創設した。

(吉村町長)

問 誘致状況と今後の取り組みについて

答 これまでの誘致状況は、平成5年に(株)タキノ工業所、平成15年に(株)石川再資源化研究所、平成26年には(株)ミススライフが町内に進出し、町の経済発展の一翼を担っている。企業で働く人の多様なニーズへの対応やコロナ禍を機に地方へ事業所を設置するニーズも高まっており、このような状況を好機と捉え、サテライトオフィスの誘致に取り組んでいきたい。

(吉村町長)

問 行政サービスの格差対応について

答 町の財政力指数に鑑み、町民にとって必要な事に対して各課ならではの行政サービスの特色を持たせるべきで、他市町との行政格差の是正に視点を置くものではないと考える。類似自治体の動向や施策を注視し、これまで以上にきめ細やかな行政サービスに努めていく。

(吉村町長)

問 町立小学校の統合に関する請願の処理の経過について

答 小学校統合については、目指すべき町の教育施設像を議会と町民の皆様と共有するべく引き続き議論を重ねてまいりたいと考えており、その議論の中で町の方針や今後の考え方について、町民に説明し、適切な時期にその判断をしたいと考えている。

(吉村町長)

教育行政について

問 第3期町教育振興基本計画の主要な改訂点について

答 基本理念「ふるさとの未来を担う心豊かな人づくり」は変更せず、第2期穴水町まち・ひと・しごと創生総合戦略を基に、教育を取り巻く環境や社会変化に応じ、GIGAスクール構想における学びの実現、教職員多忙化改善のための環境整備、新型コロナウイルス感染症と共生する学校運営などを加えた。

(大間教育長)

問 AI時代に備えての教育について

答 学校では、「問題を解く力」を培う前に「日本語を読む力」を付けることが重要とし、読書活動に力を入れている。ICTにより知識を身につけることも必要ではあるが、ふるさと学習など本物の体験をさせることで人間らしい柔軟な判断ができる子ども達を育てたいと考えている。

(大間教育長)

問 育児用品のリユースについて

答 子育てふれあいセンター内にて、「ゆずりますコーナー」が整備済みで、令和4年度は2件の応募があり、受け取り手まで取り次いだものが1件であった。

広報やアプリなどで改めて周知し、リユースの輪を広げていく。

(谷口子育て健康課長)



人事評価に対する町長の考えは

個々の努力を公平に評価することで 人材育成の促進や組織の成長を促すと考える



吉村町長

小泉 一明議員

問 DXを活用した行政オンライン化の成果について問う

答 「六水町DX推進計画」を策定し、住民に対する行政サービスの利便性向上や事務の効率化を図るためデジタルを活用した施策に取り組んでいる。子育て関係15件、介護関係11件、被災者支援関係1件についてDXを活用した行政手続きが可能。一部申請書に住所・氏名などが印字された「書かない窓口」、「キヤッシュレス決済」の運用を行っており、更なる利便性向上を図っていく。
(吉村町長)

問 人口減少による空き家問題・インフラ整備の方向性を問う

答 空き家問題、上下水道施設の維持・更新をはじめ、学校や病院等の公共施設の適正規模のあり方を検討し、行政サービス水準の低下を招かないよう将来的な財政負担等を視野に入れ検討を行っている。
(吉村町長)

人の活かし方、人事評価について

問 人事評価に対する町長の考えを問う

答 人事評価は、個々の努力を公平に評価することで人材育成の促進や組織の成長を促すと考える。職員の職務執行や職務実績を客観的に把握・評価し、適材適所の人事配置や能力開発及び適切な給与処遇に繋げるものと考え、年齢・性別等に関係なく、公平公正に評価している。
(吉村町長)

問 若手職員への思いについて問う

答 今後の町の将来を担う職員となるため、役所の業務を多く経験し自己の成長を図って欲しい。職員が生き生きと職務に取り組む職場環境の整備を促進し、

限られた職員で質の高い行政、住民に満足して貰えるサービスの提供を行って欲しいと考える。
(吉村町長)

問 行政職員の最大の奉仕について

答 職員には常に、町民一人ひとりにより添った丁寧な対応をお願いしている。「人口の少ない町、規模の小さな町だからこそできる、きめの細かい住民サービス」を目指し、町民のニーズに応じた手厚い支援を行っていく。
(吉村町長)

自転車について

問 小中学校児童生徒への自転車運転の指導状況について問う

答 毎年度、小学校において交通安全教室を開催し自転車の乗り方の指導を行っている。中学校においても、2年生を対象に毎年実施し、昨年度は、JAの自転車交通安全教室が全生徒を対象に実施された。幼児や高齢者においても、要望に応じ開催している。
(荒木環境安全課長)

問 自転車用ヘルメット購入助成について

答 現在、県内において年齢を問わず購入助成を行っている自治体はわずかである。今後、どのような支援が本町に効果的か調査研究を行っていく。
(荒木環境安全課長)

問 奥能登市町への運転マナーとヘルメット着用の呼びかけについて

答 奥能登2市2町はもとより、石川県や県内自治体、警察署などと情報の共有を図りながら啓発に努めていく。
(荒木環境安全課長)

統合小学校の建設については

吉村町長 引き続き議論を重ね今後 適切な時期にその判断を行う



小坂 孝純議員

問 一日も早く統合を進める事が未来ある子ども達のためになると考えている。完成には数年の期間が必要であり、その間に、解決すべき問題を協議し解決すれば良いと思う。今こそ町長の決断が求められている

答 就任以来、児童生徒の減少が続くなか適正規模の学校に近づけるため、両小学校の統合を進めることに変わりはなく。しかし、12月議会での請願の採択を重く受け止め、引き続き議論を重ね、今後適切な時期にその判断を行う。一方で、六水小学校の校舎は築54年が経過し老朽化が懸念されていることから、校舎の老朽度合を調査する耐力度調査を実施し、その結果を基に小学校の改修や改築等を検討する。
(吉村町長)

問 選挙活動を通して、4年前に比べ空き家が多くなっている事を痛感した。特定空き家対策について、国県への働きかけを

答 適正管理がされていない空き家等については、そのまま放置すると倒壊の危険、公衆衛生の悪化、景観の阻害等問題が引き起こされる。町では、保安上・衛生上状態の悪い空き家(特定危険空き家)に対し、取り壊し費用の3分の1、上限50万円を補助している。昨年度13件の申請があった。県を通じ国に支援等を働きかけていく。
(荒木環境安全課長)

穴水小学校の耐力度調査の結果では

吉村町長 改修・改築、建替え等全ての選択肢を考えている



山本 祐孝 議員

問 穴水小学校の「耐力度調査」の結果を受けたのちの町長の考えを問う

答 調査結果によっては、改修・改築、建替え等全ての選択肢を考えている。財源については、有利に活用できる補助を考慮し総合的に判断して決定する。(吉村町長)

問 中心市街地における整備計画について問う

答 穴水町商店振興会を中心に各種イベントを開催し、徐々にではあるが賑わいを取り戻しつつある。引き続き再生に向けた取り組みを強化していく。ハード面では、穴水町商工会の建て替えに併せ、観光交流センター、展示施設、テレワーク施設、隣接するテント広場の整備を計画している。(吉村町長)

問 主要地方道能都穴水線「椿崎地区」の道路整備の現状を問う

答 主要地方道能都穴水線は、平成17年にのと鉄道が廃線となって以降、沿線住民の生活路線として重要な役割を果たしている。これまで、幅員の狭い箇所や急カーブの箇所を重点に1.5車線の整備を進め、「寄り道パーキング鹿波」を設置することで観光ルートの整備も行った。椿崎区間においては、令和5年度新規採択されている。

(金谷地域整備課長)

6月定例会

一般質問

緊急時における子育て家庭への支援体制は

谷口子育て健康課長 緊急時に対応できる環境を整えていく



湯口 かをる 議員

問 町の経済発展に繋がる、商工業農林水産業の活性化対策を問う

答 基幹産業の振興を図るため人材確保に向け都市部からの移住者を積極的に受け入れ、若者の就労支援に取り組むほか、農林水産業の基盤整備、経営安定化に向けた支援を行っている。特産品の開発・生産に取り組むため、関係機関や企業と連携し地域経済の活性化を図り、新たな雇用機会の創出に向け、連携強化に取り組んでいる。(吉村町長)



(吉村町長)

問 整備中の西川島児童公園周囲の河川や町道白山線の安全確保対策を問う

答 フェンス構造は、一般公園施設より高い2mのメッシュフェンスを設置し、河川への進入及び転落防止対策を講じる。健康増進のため、公園外周には1周200mのウォーキングコースを設置し、多世代が利用できる公園とする。西川島の新興住宅地からの子ども達の横断歩道の設置については、駅方面より走行する車両からの見通しが前後の橋や高低差により非常に悪く、横断する歩行者の発見が遅れることも予測されるため、既存の農協前の横断歩道を利用して欲しい。

(金谷地域整備課長)

問 緊急時における子育て家庭への支援体制の確保と現状を問う

答 新設される「多世代交流センター」の中に、一時預かりの充実を図るため準備を進めている。さらに、町が運営する「子ども家庭センター」における閉所日の対応についても協議を行っており、緊急時に対応できる環境を整えていく。(谷口子育て健康課長)

問 安心して出産できる環境づくりとなる穴水総合病院の今後の取り組みを問う

答 金沢医科大学からの女性産科医師及び助産師派遣は、奥能登における産科医不足の解消に大きく寄与すると考える。予定している母親学級や両親学級など個別指導により対応し、地元で安全安心に産出し、産前産後を過ごせる環境づくりに向け積極的に取り組み、住民に信頼される病院づくりに務める。(小林総合病院事務局長)



令和5年 議会の動き (4月～6月)

令和5年度 町村議会議長・副議長研修会



5/23 正副議長が出席し、見識を深めた



6/16 5/5 発生した地震への見舞金を珠洲市議会に届ける

4月	事業名	会場等
13日	石川県町村議会議長会定期総会・自治功労者表彰式	金沢市
26日	例月出納検査	委員会室
5月	事業名	会場等
2日	議員懇談会	委員会室
8日	臨時議会	議場
11日	穴水町商工会通常総会	穴水町商工会
15日	広報編集特別委員会	委員会室
16日	新嘗祭献穀田御田植式	山中地内
18日	能登地区町議会連絡会総会	中能登町役場
23日	正副議長全国研修会(～24日)	東京都
25日	例月出納検査	委員会室
28日	穴水町婦人体育祭	穴水小学校体育館
30日	奥能登市町議会議長連絡協議会定期総会	能登町柳田庁舎
31日	議会運営委員会/全員協議会	委員会室
6月	事業名	会場等
6日	議会6月定例会 開会	議場
8日	地域密着型複合老人ホーム新築工事起工式	大町地内
13日	議会6月定例会 一般質問	議場
14日	議会6月定例会 教育民生常任委員会	委員会室
	〃 総務産業建設常任委員会	
16日	議会6月定例会 閉会	議場
	奥能登地震見舞金受け渡し	
21日	石川県町村議会議長会臨時総会	金沢市
23日	穴水町戦没者慰霊式実行委員会	庁舎
24日	穴水町消防団訓練大会	穴水消防署
25日	おおぞら農業協同組合通常総代会	おおぞら農業協同組合
26日	例月出納検査	委員会室
29日	高齢者若返り運動会	B&G 体育館

編集後記

議会議員としては当然ではあるが、町民の皆さんから町政に関する質問を受ける。

教育・福祉・環境等、分野はさまざまであるが、自宅の真正面という住環境上なのか不明だが、とりわけ多いのは現在施工中の「西川島児童公園整備」についてである。しかも子育て中の親のみならず、そうではない方からの質問も多く、町民の関心の高さが伺われる。

この原稿を書いている時点(7月6日)では、2種類の大型遊具と東屋が設置され、今後はフェンス・駐車場・トイレの設置と公園周囲に遊歩道と植樹が施されること。

子ども達の黄色い声が地域から消えて久しいが、完成を心待ちにしている町民は多いはずである。そこで、気になるのが工事の完成時期である。

現場の看板では、令和5年8月31日となっており、本当に完成するのか素人ながら疑問に思う。実は、この「完成はいつなの?」という質問が一番多いのである。

もちろん「計画とおりの完成」が最良なのは言うまでもないが、これから夏本番に向けて業者の方には熱中症に十分気をつけて業務に従事していただきたいと思う。

穴水町議会広報編集特別委員会

- 委員長 小谷 政一
- 副委員長 宮本 浩司
- 委員 大中正司
- 委員 小坂 孝純

